

一髪の秋山崎支隊の犠牲的救援に鼓舞せられ、同夜敵の一角を突破した支隊は負傷者二百余名と担送可能なる一切の兵器を携行し、十七日夜、無事ナンカンに撤退集結を完了した。

山崎支隊は十六日夜、バーモ守備隊脱出成功の報を得たるを以て、直ちに戦線を整理し、ナンカンの陣地に歸還した。敵に与えた損害は二〇〇〇と推定せられ、鹵獲又は破壊せる火砲は三十数門、機関砲三十挺に達し支隊の損害は死傷約四五〇名に過ぎなかつた。

#### 七才五飛行師団の奮戦

「ハ」号作戦協力 一方昭和十九年二月以来、アキヤブ作戦に、北緬対空作戦に、フーコン作戦に、雲南作戦に、更に「ウ」号作戦に引き続く才十五軍の退却作戦に、文字通り、寧日なく作戦を連続し来

つたオ五飛行師団の奮斗は、地上作戦にも増して困難を極むるものであつた。<sup>四〇</sup>

先づ二月上、中旬オ二十八軍の「ハ」号作戦に対し、主として戦闘飛行隊を以て制空地上作戦直協に従事した就中シンゼイ盆地の包圍攻撃に當つては二月二十一日戦爆七五機を以て出撃し協力した。而し大勢を左右することが出来なかつたのみならず、戰場近く基地を有する敵機の為我が損耗増加し、その作戦を一層困難ならしめた。

「ウ」号作戦協力 次で三月九日カーサ附近に敵空挺部隊降下の報に接し是に対する攻撃を反覆した。而し時既に遅く有效なる作戦を遂行することが出来なかつた。此の間オ十五軍の進攻作戦に協力する為、シルチヤール、インバール等敵戦闘機の基地を攻撃し四月以降六

月中旬に至る間、同軍の攻撃頓坐の兆を認むるや之が打撃に協力する  
作戦と敵空挺部隊に対する攻撃に連日全力を以て出撃協力した。然し  
ながら彼我基地配置と兵力の関係上、戦場在空時間に制限を受け奮斗  
に報ゆる戦果を挙げ得なかつた。而しその奮戦は地上部隊の士氣を鼓  
舞すること多大なるものがあつた。

戦力の減耗　その出撃艇機数は、三月四一四機、四月五一九機、  
五月四五六機、六月一五二機、七月一二九機と漸減した。三月は「ウ」  
号作戦協力と対空挺攻撃相半ばし四、五月は主力を以て「ウ」号作戦  
協力の一部を以て対空挺攻撃に当つた。六月以降、フリーコン、ミート  
キーナ、雪南方面の作戦協力就中軍需品の投下に協力した。

三月以降の出撃機数が示す如く連日の困難なる作戦に因りその戦力

四一

消耗急迫にして六月末の可動機数は僅かに四九機となり、七月に於て  
は同時出撃可能機数は二〇機内外に減少した。今や少数機を以てする  
遊撃的奇襲作戦以上を望むことが不可能たる状況となつた。而も昭和  
十九年一月下旬、重爆一戦隊を訓練の為内地に転進せしめられ更に七  
月中旬遼北方面の戦況急迫せる為、才七飛行団司令部及び重爆一箇戦  
隊を抽出転用せらるるに至り、才五飛行師団の戦力は愈々低下するこ  
ととなつた。

一方緬甸方面敵空軍の活動は四月に於ては、旬間二千数百機に激増  
し、雨季に入るもその活動減退せず、緬甸上空の彼我航空勢力の懸隔  
は絶對的な状態となり、我が作戦を益々困難ならしめた。